

LECIP

■証券コード7213

第57期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

あ、ここにも。

LECIP



レシップ株式会社



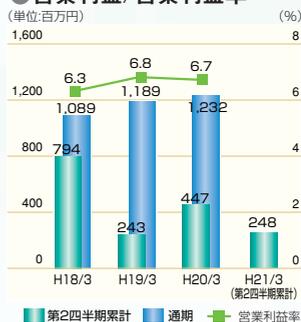
連結財務ハイライト

	H18/3 (第2四半期累計)	H18/3	H19/3 (第2四半期累計)	H19/3	H20/3 (第2四半期累計)	H20/3	H21/3 (第2四半期累計)
売上高 (単位:百万円)	9,086	17,233	7,498	17,572	8,364	18,511	8,268
営業利益 (単位:百万円)	794	1,089	243	1,189	447	1,232	248
経常利益 (単位:百万円)	806	1,086	247	1,191	441	1,208	272
四半期 (当期) 純利益 (単位:百万円)	465	622	132	668	241	686	138
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (単位:円)	83.31	96.29	20.74	104.68	37.73	107.38	21.60
1株当たり純資産額 (BPS) (単位:円)	510.86	599.65	605.19	689.82	715.54	781.66	781.40
総資産 (単位:百万円)	10,561	10,512	10,367	11,533	11,198	11,470	10,810
純資産 (単位:百万円)	2,851	3,895	3,867	4,408	4,572	4,995	4,993
自己資本当期純利益率 (ROE) (単位:%)	—	19.4	—	16.1	—	14.6	—

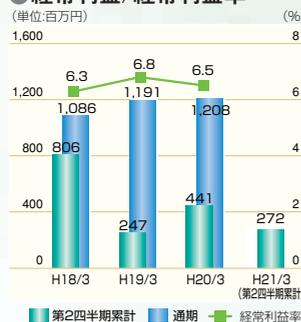
●売上高



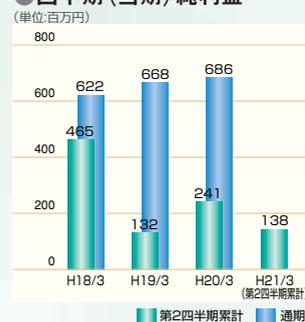
●営業利益/営業利益率



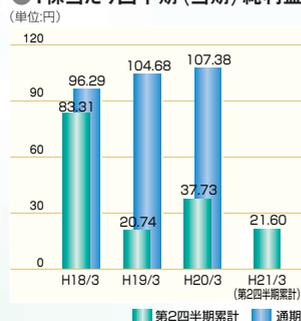
●経常利益/経常利益率



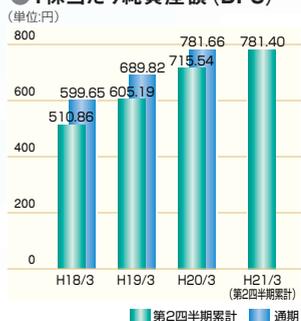
●四半期 (当期) 純利益



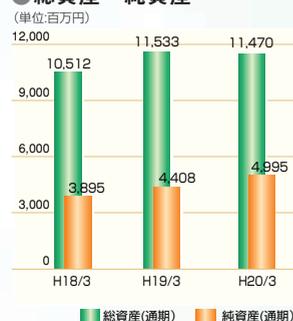
●1株当たり四半期 (当期) 純利益



●1株当たり純資産額 (BPS)



●総資産・純資産



●自己資本当期純利益率 (ROE)





代表取締役
社長執行役員 杉本 眞

経営の効率化・合理化をこれまで以上に 推し進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、当社の第57期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（4-9月期）のわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した主要国での金融危機を始め、原油・素材価格の高騰、急激な円高・株価下落が進むなど、景気後退が鮮明な状況となりました。

このような中、当社グループにおきましては、主力の輸送機器事業では、引き続き堅調に推移した一方で、S & D事業では、国内・米国におけるネオンサイン市場の低迷を受けて、ネオン変圧器の売上が減少し、産業機器事業では、電子マネーの急速な普及を追い風に好調に推移

しておりました物販共用読み取り端末が大幅な反動減となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高が82億68百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は2億48百万円（同44.4%減）、経常利益は2億72百万円（同38.4%減）、四半期純利益は1億38百万円（同42.7%減）となりました。

今期平成20年度は、中期経営計画「PG2009プラン」の中間年度であります。「力強い成長力」をキーワードに、さらなる業績の向上に努めるとともに、より一層の企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも力強いご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

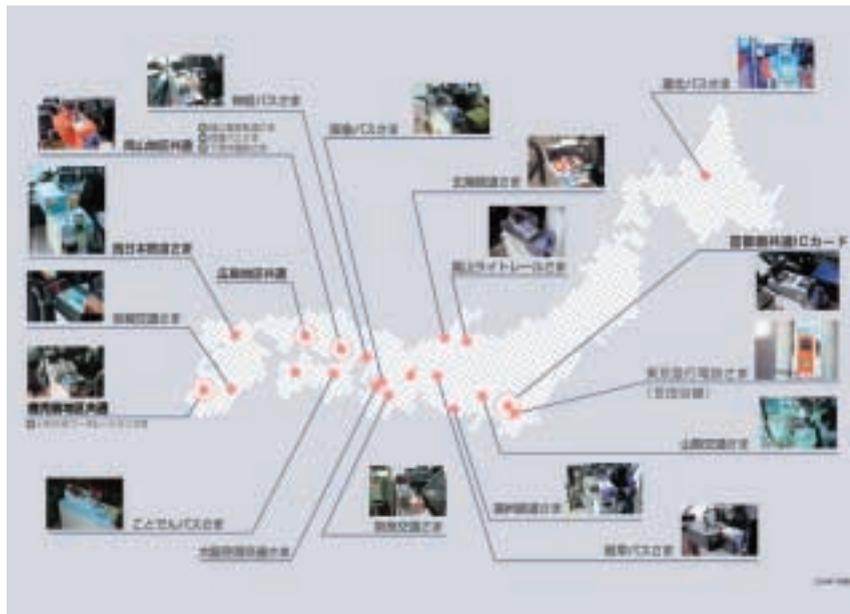
平成20年12月

当社製非接触ICカードシステムのご採用事例

路線バスを始めとする各種公共交通機関で、非接触ICカードシステムでの料金精算サービスの提供が進んでいます。バスにも、鉄道にも、さらにはショッピングにも共通で使用できるカードが次々と増えており、当社のICカードシステム（機器）は、各地でご採用いただいています。

<主な取扱製品>

路線バス用ICカードリーダー
ICカード対応機能付き運賃箱
データ処理機器



アメリカの公共交通展示会に出展

アメリカ・カリフォルニア州のサンディエゴで2008年10月6日から8日にわたって開催されました国際公共交通機関展示会 (International Public Transportation Expo 2008) に出展し、現地のバス事業者様に対して当社製品 (OBCシステム、LED式行先表示器、LED式停留所名表示器、運賃箱、整理券発行者、バス・鉄道用照明機器) をアピールいたしました。



個人投資家向け IR イベントへ出展

当社の事業内容をより多くの方に知っていただくため、名古屋市内で開催された個人投資家向け IR イベントへ出展いたしました。



名証 IR エキスポ2008
2008年7月18日、19日

東海三県ノムラ資産管理フェア2008
2008年9月19日、20日



株主優待の導入

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図るために、株主優待制度を導入いたしました。

毎年9月末日現在の株主様に対して、当社本社所在地である岐阜県本巣市の特産品「富有柿」^{もとす}を贈呈いたします。発送は11月下旬より順次行う予定です。



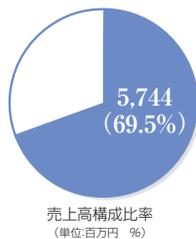
贈答用Lサイズ14個入1箱

部門別営業の概況

輸送機器事業

当事業の売上高は、57億44百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

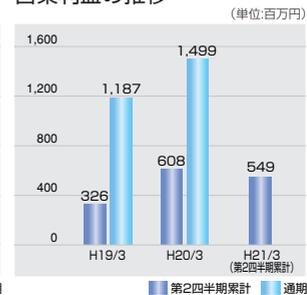
- ・バス用ICカードシステムの納入の一部が、第3四半期以降にずれ込んだものの、その他の製品が総じて前年同期実績を上回り、引き続き堅調に推移



売上高の推移



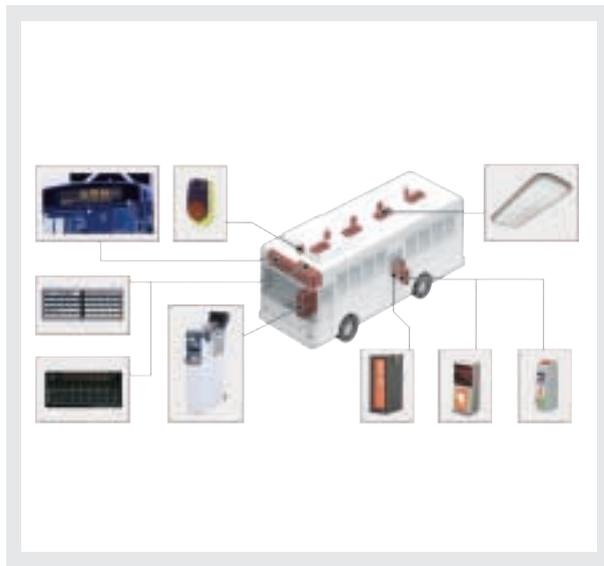
営業利益の推移



■主な製品

バス・鉄道用システム機器

ICカードシステム、磁気式カードシステム、運賃箱、整理券発行器、LED式行先表示器、デジタル運賃表示器、OBC-VISION (液晶表示器) など



車載用照明機器

バス・鉄道・トラック・乗用車の室内用・荷室用照明機器

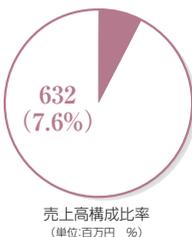


800系新幹線「つばめ」用照明

S&D事業

当事業の売上高は、6億32百万円(前年同期比14.3%減)となりました。

- ・国内・米国市場におけるネオンサイン市場の需要の低迷に伴いネオン変圧器の売上が軟調に推移
- ・銅などの素材価格が高止まりし、利益を圧迫



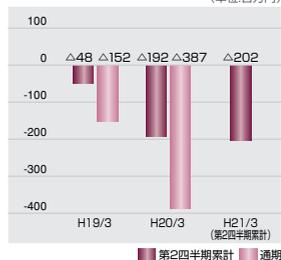
売上高の推移

(単位:百万円)



営業利益の推移

(単位:百万円)



■主な製品

- ・ネオン変圧器(巻線式・電子式)
- ・屋外蛍光灯看板用電子安定器、CCL、LED電源など



産業機器事業

当事業の売上高は、18億91百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

- ・物販共用読み取り端末は、前期大幅増の反動減
- ・連結子会社レシップ電子で、新規立ち上げ基板実装の拡大に伴う初期生産コストの増加が利益を圧迫



売上高の推移

(単位:百万円)



営業利益の推移

(単位:百万円)



■主な製品

- ・バッテリー式フォークリフト用充電器、無停電電源装置
- ・物販共用読み取り端末
- ・EMS事業(プリント基板の実装)



四半期連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)
(資産の部)		
①流動資産	8,587,617	8,035,541
現金及び預金	1,125,513	1,407,865
受取手形及び売掛金	5,164,303	4,223,357
たな卸資産	1,853,081	1,825,333
繰延税金資産	258,116	272,107
その他	191,237	310,796
貸倒引当金	△4,635	△3,919
②固定資産	2,882,651	2,774,697
有形固定資産	2,157,822	2,060,758
建物及び構築物	1,351,261	1,292,368
工具器具備品	325,638	314,949
その他	480,922	453,441
無形固定資産	66,825	66,499
投資その他の資産	658,004	647,439
投資有価証券	281,810	253,403
繰延税金資産	93,789	108,856
その他	305,849	303,658
貸倒引当金	△23,445	△18,478
資産合計	11,470,268	10,810,239

科目	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)
(負債の部)		
③流動負債	6,100,694	5,484,565
支払手形及び買掛金	2,960,747	3,111,644
短期借入金	621,000	599,300
1年以内返済予定長期借入金	673,616	603,618
賞与引当金	366,729	346,102
役員賞与引当金	33,471	—
製品保証引当金	67,905	74,248
その他	1,377,224	749,651
固定負債	374,455	332,235
長期借入金	60,800	44,000
退職給付引当金	9,470	22,424
その他	304,185	265,811
負債合計	6,475,150	5,816,801
(純資産の部)		
株主資本	4,979,158	5,011,710
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	719,406	719,406
利益剰余金	3,538,370	3,570,856
自己株式	△14,263	△14,198
評価・換算差額等	15,959	△18,272
その他有価証券評価差額金	62,136	33,989
為替換算調整勘定	△46,176	△52,262
純資産合計	4,995,118	4,993,437
負債・純資産合計	11,470,268	10,810,239

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 平成19年4月 1日から 平成19年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成20年4月 1日から 平成20年9月30日まで
売上高	8,364,540	8,268,518
売上原価	6,246,765	6,466,910
売上総利益	2,117,775	1,801,607
販売費及び一般管理費	1,670,095	1,552,698
営業利益	447,680	248,909
営業外収益	31,458	44,278
営業外費用	37,169	20,882
経常利益	441,970	272,305
特別利益	5,016	22,459
④ 特別損失	7,494	41,373
税金等調整前四半期純利益	439,492	253,391
法人税、住民税及び事業税	170,294	107,766
法人税等調整額	28,062	7,565
四半期純利益	241,134	138,059

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 平成19年4月 1日から 平成19年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成20年4月 1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,779	655,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,538	△211,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	△707,669	△151,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,755	△9,612
現金及び現金同等物の増減額	△444,673	282,352
現金及び現金同等物の期首残高	1,074,836	1,055,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	630,163	1,337,865

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■当期から四半期開示制度に伴う会計基準の変更により、連結損益計算書ならびに連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績について掲載しております。前中間期(前第2四半期連結累計期間と表示しております。)の数値については、参考数値として掲載しております。

① 流動資産

現金及び預金が増加した一方、受取手形及び買掛金が減少しました。

② 固定資産

主に建物及び構築物等の減少などにより、1億7百万円減少しました。

③ 流動負債

支払手形及び買掛金が増加した一方、未払金・借入金が減少しました。

④ 特別損失

新会計基準の適用に伴う「たな卸資産評価損」を27百万円計上しております。

環境活動のご紹介

当社では、製品の小型化・省エネ化を中心として、環境のグローバルスタンダードを意識した事業活動を行っております。2008年6月に当社としては初めての環境報告書「環境活動のご紹介2008」を発行いたしました。

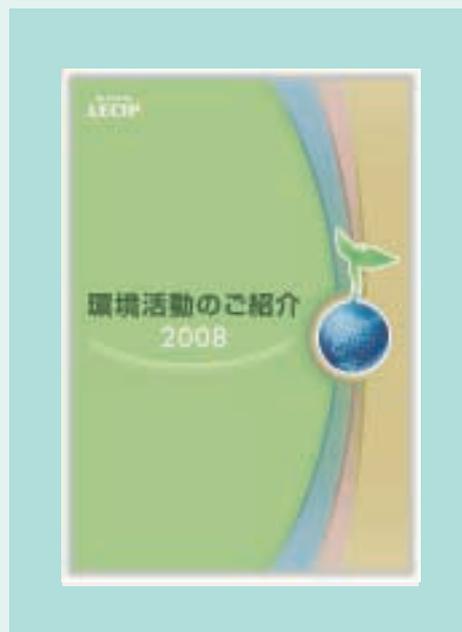
(ホームページに掲載 (<http://www.lecip.co.jp/environment/environment01.htm>) しております他、ご希望の方にはお送りしております。)

1. 環境推進体制の構築

当社では、環境方針を制定し、環境課題を明確にしている他、環境会計ワーキンググループなどの環境管理組織を設けるなど、全社的に対応しております。

2. 具体的取り組み (エコ・プロダクツ)

当社では製品の省資源化・長寿命化によっても環境負荷の低減を図っております。また、製品の鉛フリーはんだ化や、RoHS指令対応も推進しております。



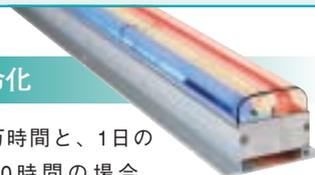
薄型運賃箱—省資源化

容積、質量とも20%以上の小型・軽量化(当社比)を実現しました。



CCL—長寿命化

期待寿命は4万時間と、1日の点灯時間が10時間の場合、4,000日点灯可能な長寿命型カラー光源です。

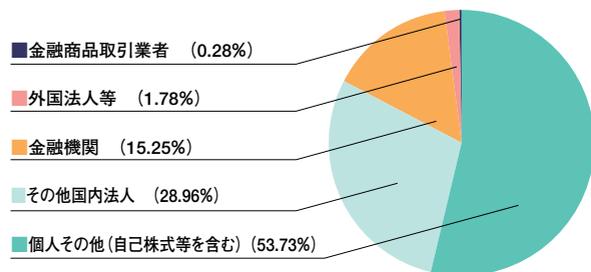


株式の状況

発行可能株式総数	22,000,000株
発行済株式の総数	6,399,100株
株主数	1,814名

株式の分布状況

●所有者別株式数分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
レシップ社員持株会	596,620	9.32
名古屋中小企業投資育成株式会社	468,240	7.31
重陽産業株式会社	430,690	6.73
宗教法人 記念堂	422,280	6.59
株式会社十六銀行	280,000	4.37
杉本 眞	190,800	2.98
天野 賢敬	160,020	2.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	122,500	1.91
朝日火災海上保険株式会社	120,000	1.87
瀬川 隆彦	113,360	1.77

会社概要

商号 レシップ株式会社(英文社名:LECIP CORPORATION)
 事業内容 バス・鉄道・自動車用電装機器、サイン&ディスプレイ
 関連機器、産業用機器の製造・販売
 所在地 〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2
 TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597
 設立 昭和28年3月
 資本金 7億3,564万円
 従業員 連結567名 単体398名
 営業所 札幌・仙台・東京・中部(岐阜)・金沢・大阪
 広島・福岡
 上場取引所 東京証券取引所市場第二部
 名古屋証券取引所市場第二部

役員

代表取締役社長執行役員 杉本 眞 執行役員 野々村 良晴
 取締役常務執行役員 山口 芳典 執行役員 杉戸 庸晃
 取締役執行役員 長野 晴夫 執行役員 山本 直
 取締役(非常勤) 河村 雅敏 常勤監査役 安田 義則
 執行役員 岩田 毅 監査役 中川 彰
 執行役員 波多野 逸寿 監査役 池田 芳原
 執行役員 中村 和彦 監査役 内木 一博

レシップ・グループ

レシップ電子株式会社
 THAI LECIP CORPORATION LIMITED (タイ国)
 LECIP U.S.A., INC. (米国)
 レシップ上海電機有限公司 (中国)
 レシップ産業株式会社

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会基準日 毎年3月31日
期末配当金 3月31日
受領株主確定日
中間配当金 9月30日
受領株主確定日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話（フリーダイヤル）0120-232-711
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告の方法 当会社の公告方法は、電子公告といたします。ただし、
事故その他やむを得ない事由によって電子公告による
公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
して行います。なお、電子公告は当会社のホームページ
に掲載しており、そのアドレスは次のとおりです。
<http://www.lecip.co.jp>

■お知らせ

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご留意下さい。

電話（フリーダイヤル）0120-244-479

URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

LECIIP

Lighting Electric power Conversion Information Processing

お問い合わせ先

レシップ株式会社

管理本部 総務部 (IR担当)

岐阜県本巣市上保1260番地の2

〒501-0401

TEL.058-324-3121

FAX.058-323-2597

URL : <http://www.lecip.co.jp>



※この報告書は再生紙を使用しています。